六甲大学
ROKKO-SAN DAIGAKU

六甲山にまつわる自然、環境、文学、食などの多彩な催しを大学のカリキュラムに見立てて情報発信する「六甲山大学」。山の旬の情報を通して、六甲山の魅力に迫ります。　（毎月第４火曜日に掲載します）

根岸真理が案内　山の四季便り

海と山 神戸の景観楽しんで

「山麓リボンの道」西舞子～甲南山手結ぶ全長約45キロ

六甲山の登山口へ向かう坂道でよく見かける「山麓リボンの道」という石の道標。以前から気になっていて、調べてみたところ、神戸市のホームページで紹介されていた。成立の経緯などを神戸市都市局景観政策課に尋ねてみた。

「海と山に囲まれた神戸らしい景観が楽しめる道として、40年ほど前に設定。当時のことを知る人がすでにいないため、詳しいことはわからない」とか。かつては地図を販売していたが、在庫はもうない。現在、PDFで地図を公開しているが、情報が更新されておらず、現状と違う部分もあるため、近々掲載しなくなるかもしれないそうだ。

垂水区の西舞子と、東灘区の甲南山手が起終点で、全長約45キロ。西端の垂水区以外は六甲山の南麓で、ところどころ急な坂道もあるが、ほとんどが市街地。タウンシューズで気軽に歩け、随所にお店やコンビニ、自販機もあるので、手ぶらでもOKだ。

先日、骨折のリハビリも兼ねて、西端から一部を歩いてみた。六甲山の東麓に住んでいる筆者にとって、西側の起点周辺はあまりなじみのないエリア。ダウンロードした地図を片手に、プチ旅気分で山陽西舞子駅へ降り立った。海沿いの道は開放感満点で、潮風が心地よかった。徒歩で明石海峡大橋の下をくぐると、その巨大さに圧倒された。海峡と淡路の島影を背景にたたずむ〝舞子の六角堂〟こと「移情閣」も趣深い。

五色塚古墳からは、六甲山と淡路島の山並みが対峙するように見渡せ、明石海峡をはさんでこれらが連なっていることがよくわかった。

須磨を過ぎると海から離れて行くが、神戸の街並みと海を見渡す眺望スポットが次々と現れる。街中にも小さな自然が息づいており、史跡などの見どころも多い。たまには六甲山を背景として眺めながら歩くのもいいものだと思った。

どこからでも、鉄道やバスが利用できるので、気になるパートを少しずつ歩いてみても。雨が多い季節でも、傘をさしての散策も楽しめそうだ。

ねぎし・まり　アウトドア系のフリーライター。1961年、神戸市須磨区生まれ。六甲山を活動拠点とし、六甲山大学広報専門委員。著書に「六甲山を歩こう！」など。

東西の起終点。道標は曲がり角ごとに設置されているわけでなく、撤去されたものもあり、これだけを頼りに歩くのは難しい

上移情閣越しに明石海峡大橋を望む絶景
下塩屋地区の道沿いにたたずむ西向地蔵

公開されている地図は現状と異なる部分があるので、参考程度に…

子どもも大人も本気で遊ぼう

山、空、水辺　全7エリアで冒険

アスレチック施設「グリーニア」開園

スリル満点の水上アスレチック「ワンダーアメンボー」

200メートル超の距離を滑空する「ジップスライド」

日本最大級のアスレチック施設が六甲山に誕生した。「六甲山アスレチックパークGREENIA（グリーニア）」は「山、空、水辺。全てが舞台の冒険王国。」をテーマに、全16ポイントのアスレチックが遊べる施設となっている。

グリーニアのアスレチックは、七つのエリアに分かれていて、大人気動画クリエイターのフィッシャーズが新設アスレチックのうち、3エリアを監修。スリル満点の水上アスレチックや、SNS映えバッチリのバラエティー豊かなアスレチックがそろっている。難易度はカンタンから激ムズまで4段階に設定され、子どもから大人まで本気で楽しむことができる。

また、人気の「zip slide」エリアは、200メートル超えの往復ロングジップスライドで空を駆け抜ける体験が味わえる。こちらは当日先着順で受け付け（ZIPチケット千円）。

アスレチック以外にも、場内で楽しめるキャンペーンを開催中。六つのスタンプを重ねて押すとイラストが完成する「アスレチックスタンプラリー」は無料で誰でも参加できる。どんなイラストになるかはお楽しみ。さらに、スタンプを完成させた人には豪華プレゼントが当たるチャンスも。

また、グリーニアで撮った写真を「#GREENIA」をつけてSNSに投稿すると、オフィシャルショップグリーニアでグッズをプレゼント。場内にはフォトスポットもいっぱいなので、グリーニアでの思い出を仲間と共有しよう。

おなかがすいたら、レストラン「アルペンローゼ」でゆったり食事を楽しんだり、バーベキュー場（当日利用可）でアウトドアクッキングを満喫したり、過ごし方は自由。場内ショップ「グリーンリーフ」では、六甲山麓牛乳を使ったオリジナルソフトクリームなどのテークアウトメニューが食べられる。

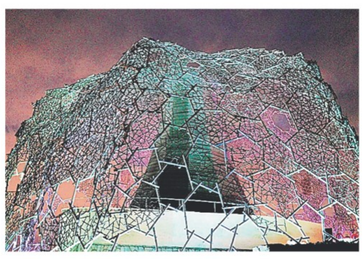
グリーニアで遊んだ後は、メインゲートそばの「オフィシャルショップグリーニア」へ。ここでしか買えないオリジナルグッズや、フィッシャーズとのコラボグッズが並ぶ。3回分の入場料金でシーズン中遊び放題になるシーズンパスも発売している。

全てのアスレチックを制覇するには、何度も足を運ぶことになりそうだ。☎078・891・0366

ひときわ目を引くポイントの一つ「ゲームの中に飛び込んで」

芸術学部

◆六甲山光のアート「Lightscape in Rokko」スペシャルライティング「心象光景」　６月１～30日19～21時（受け付けは20時半まで）、自然体感展望台・六甲枝垂れ（六甲ケーブル「六甲山上」駅から六甲山上バス「六甲ガーデンテラス」）。伏見雅之さんの演出で「心象光景」と題し、六甲枝垂れに集う人たちそれぞれの心模様を光で表現したスペシャルライティング＝**写真**。1000万色以上の色彩表現ができるＬＥＤ照明が自然光に近い光で、展望台全体を覆うフレームを内側から照らし出す。入場料310円、４歳～小学生210円。六甲ガーデンテラス☎078・894・2281



環境学部

◆森の中のあじさい散策　６月12日～７月18日の８～17時（土日・祝日は18時まで。入園は閉園の30分前まで）、神戸市立森林植物園（神鉄「北鈴蘭台」駅から無料送迎バス）。幻の花と言われた六甲山の名花「シチダンカ」をはじめ、350品種、約５万株が広大な森の中で次々と咲き誇る＝**写真**。普段は見られないアジサイ苗畑の通り抜けもできる。「森林あじさい講習会」など関連イベントを開催する。入園料300円、小・中学生150円。ペアで入園時、１人浴衣着用で入園無料。神戸市立森林植物園☎078・591・0253

総合学部

◆７月のミントサロン「マヤ族、続々～市民主催講座『マヤカツ』」　７月１日19～20時、ミント神戸18階のミントテラス（ＪＲ「三ノ宮」駅）。摩耶山をフィールドに得意分野を生かした市民主催の活動・講座「マヤカツ」について話す。講師は摩耶山再生の会事務局長の慈憲一さん＝**写真**。無料。先着25人。住所、氏名、電話番号、年齢、性別を明記し、メール（mintsalon@kobe-np.co.jp）かファクス（078・360・5514）で申し込む。六甲山大学事務局ミントサロン係☎078・362・2983

文学部

◆摩耶山天上寺　定例坐禅会　６月19日13時（約１時間）、摩耶山天上寺・御供所で受け付け（摩耶ロープウェー「星の駅」から徒歩約10分）。真言密教の座禅「阿字観（あじかん）」の座り方から組み方、呼吸法までを僧侶が分かりやすく教える＝**写真**。参加費1000円。定員30人。６月18日までに電話で申し込む。同寺☎078・861・2684

催しの日程、内容などは変更される場合があります。お出かけ前に主催者にご確認ください。ホームページhttp://653daigaku.com/

▲詳しくは「Rethink PROJECT」で検索

世界は、昨日と同じか

Rethink PROJECT

JTグループは、自然・社会・人間の多様性に価値を認め、責任ある地域コミュニティの一員として、「格差是正」、「災害分野」、「環境保全」の三つの領域を重点課題と位置づけ、様々な地域貢献活動に取り組んでいます。国内においては、地域貢献活動として「Rethink PROJECT（リシンク・プロジェクト）」を推進しています。Rethink PROJECTは、「視点を変えれば、世の中は変わる。」というコンセプトのもと、これまでにない視点や考え方を活かし、地域社会の課題に対して問題意識や解決の意志を持つ方々とパートナーシップを組み、新しい明日を創るべく社会課題と向きあうプロジェクトです。たとえば、Rethink PROJECTの一環として実施している『Rethink Creator PROJECT』は、〝地元を誰かにまかせない。〟というコンセプトのもとクリエイターの育成・地産地消を通じた地域創生の実現を目指しています。地元の人だからこそ発信できる地域の魅力はたくさんあるはずですが、それを地域の宣伝や文化の紹介に生かす場は限られていることから、学びと挑戦の場となる各地域でのセミナーやコンテストの開催を通じて、地元のことを、視点を変えて見つめなおす機会を提供しています。同様に、清掃活動「ひろえば街が好きになる運動」では、〝『ひろう』という体験を通じて、『すてない』気持ちを育てたい。〟という視点変えの趣旨に賛同いただいた、多くのパートナーに参加いただいております。参加者の多くが「楽しい」「有意義」「これからはもうすてない」と答えてくれるのが、何よりの成果です。いずれの活動も、2021年は新型コロナウイルス感染症に配慮し、リアルとオンラインを組み合わせたハイブリッド型のセミナーや、小規模な清掃活動といった〝Rethink〟な形で行う予定です。

わたしたちは 六甲大学 の活動を応援しています　ひとのときを、想う。JT　Daiwa House　想いをかたちに 未来へつなぐ TAKENAKA　（順不同）

【実行委員会】六甲摩耶観光推進協議会／摩耶山観光文化協会／灘百選の会／神戸観光局／神戸新聞社　【事務局】神戸新聞地域創造内　E-MAIL:info-653@kobe-np.co.jp